



広報 峡北

No. 59

令和6年1月

峡北広域行政事務組合 発行

山梨県富士宮市本町四丁目8-36

☎ 0551-22-3311

編集/総務課

URL <https://www.kyohoku-koiki.jp/>



～ ごみを「きちんと分別して」出しましょう ～

令和5年中、可燃ごみ処理施設で金属類の混入による緊急停止事故が多発しました。(下図参照)

緊急停止をした場合は、高温状態となっている設備の中心部を冷やした後に混入物を除去するため、多発すると施設全体に負荷がかかり設備の損傷にも繋がります。

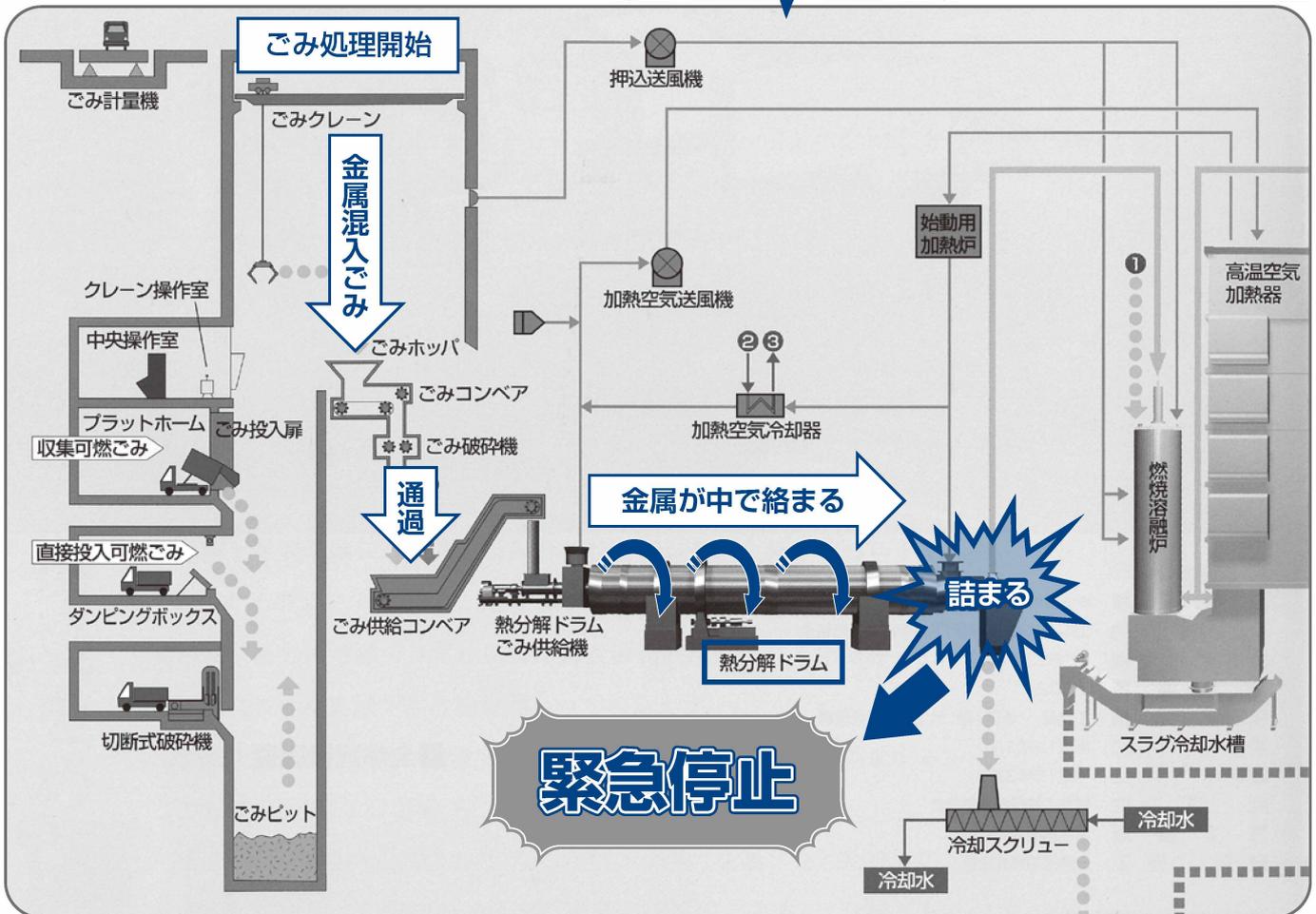
作業後、施設を再稼働させるには、多大な労力と多量の助燃剤(灯油:約17,000リットル)が必要となります。作業等の費用は、組合を構成する3市(富士宮市、北杜市、甲斐市)で負担しているため、各市の財政に大きな影響を与えます。

また、停止事故により特殊性の高い機器が破損した場合には修理費が高額となることや修理に時間を要し、**ごみの受け入れができなくなってしまいます。**

ごみは、各市の指定のとおり、モラルを守って出していただけますよう、皆さまのご協力をお願いします。

緊急停止までの過程

ホームページで動画を紹介しています →

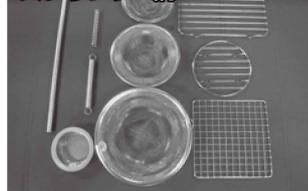


混入していることが多い金属

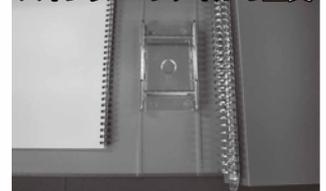
ワイヤー・チェーン・配管



スプリング・網



パインダー・ファイルの金具



第51回全国消防救助技術訓練大会に出場

令和5年8月25日（金）、北海道札幌市で開催された「第51回全国消防救助技術訓練大会」に、当消防本部の隊員2名が山梨県代表として『ロープ応用登はん』の部に出場しました。

この種目は、登はん者と補助者が2名1組で協力し、機材を使わず塔上から垂れ下げられたロープを15メートル登はんする訓練です。

全国から選出された隊員が訓練成果を披露するなか、全国16位（タイム12秒1）で入賞しました。今後も隊員一同、救助技術を向上させ、災害現場での活動に生かせるよう訓練に励んでまいります。

大会の動画はこちらからどうぞ➔



水槽付きポンプ自動車（タンク車）を更新しました

22年の長きに渡り消火活動を支えてきた葦崎消防署の水槽付きポンプ自動車（タンク車）を更新して運用を開始しました。

この車両は5,000リットルの水槽を従来の丸形から箱型へ変更し、乗車定員はダブルキャビン方式の採用により3名から6名に増え、ポンプ機能が充実して放水性能が向上し、泡消火薬剤自動混合システムを搭載した最新鋭の車両となっています。

林野火災や水利の確保が難しい地域でも、最前線での火災防御活動、迅速な初期消火が行えます。



ダブルキャビン方式



消火用資器材積載

電線にかかった樹木の枝は火事になります！

当消防本部管内では、樹木の枝が送電線に接触し、火災となる事例が多発しています。

枝が電線に接触するのは非常に危険な状態です。大風で電線に擦れることや台風の影響で倒木、電線が切れた場合には火災や長時間の停電になることが心配されます。

「電線に木の枝がかかりそう」、「枝が当たっていて火事にならないか心配…」、そんなときは自分で剪定しようとせず、まずは電力会社に相談しましょう。

また、自宅敷地内の電線であれば、電気料金の領収書に書かれた相談窓口に電話、公道の場合は電柱に書かれた連絡先に電話するなど、火災を未然に防ぐ対応をお願いします。



『火を消して 不安を消して つなぐ未来』



令和4年中に発生した火災66件では、約6割が1月から3月に発生しており、そのほとんどが「野焼き」や「たき火」の火が燃え広がり、火災になったものでした。

これからの時期、空気が乾燥するなかで、野焼きなど火を使う機会も多くなります。

一人ひとりが、火災を出さないという強い意識を持って、火災予防に努めましょう。やむを得ず農作業などで火を使う場合には、火災を出さないために、以下のことを守りましょう。

野焼きを行う際の注意点	
強風	強風の時には中止しましょう
届出	事前に消防署に届け出をしましょう
消火	消火用の水等を準備しましょう
見守	その場を離れないようにしましょう
確認	必ず消えたことを確認しましょう



救急車が必要か迷ったら #7119へ

緊急だと思ったら、ためらわずに119番通報を!!

全国的に救急車の出動件数が増えており、当消防本部でも令和5年中は5,000件を上回りました。7,000件を超える119番通報の中には緊急性の低いものもあり、軽い症状で救急車を利用することは本当に必要な人への救急医療が遅れてしまう恐れもあります。

- 「救急車を呼ぶか誰かに相談したい。」
- 「何科の病院に行けばいいの?」など、
- 119番は、火災（を発見したとき）、
- 救急：急病人・けが人（を発見したとき）、
- 救助：事故や災害で助けを必要とするときなど、



緊急時に消防へ助けを求めるときに通報する電話番号です。適切な利用に皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



峡北消防テレフォンサービス
(0551-22-8181) もご利用
いただけます。

厚生労働省
ホームページ



基崎市・北杜市
甲斐市（双葉地区） のみなさまへ

2023年（令和5年）
10月2日（火）
18時から
始まりました

救急電話相談窓口
#7119 24時間 365日
（シャープ）

IP電話・ダイヤル回線の場合は 055-223-1418

緊急・重症の時は **119** 番

休日や夜間に診療できる医療機関をお探しの場合は、以下にご相談ください

峡北消防本部 0551-22-0119
〒407-0024 山梨県基崎市本町四丁目8-36

夜間休日の病院照会 0551-22-8181
※自動音声でのご案内となります

山梨県消防局 消防保安課 055-223-1430

組合職員の給与および職員数などを公表します

◆人件費の状況（令和4年度一般会計外3会計決算）

（単位：千円・％）

区分	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率	
			(B/A)	前年度
一般会計	74,022	53,225	71.9	73.7
常備消防特別会計	1,543,711	1,002,779	65.0	48.1
ごみ処理特別会計	1,681,181	42,600	2.5	2.7
し尿処理特別会計	124,865	25,303	20.3	26.4

（注）人件費には、特別職の報酬は含んでいません。

◆職員給与と費の状況（令和4年度一般会計外3会計決算）

（単位：人・千円）

区分	職員数 (A)	給与と費				一人当たり 給与と費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
一般会計	6	25,269	5,697	10,133	41,099	6,850
常備消防特別会計	126	460,386	184,501	182,022	826,909	6,563
ごみ処理特別会計	4	17,852	5,665	7,533	31,050	7,763
し尿処理特別会計	2	7,911	2,450	3,176	13,537	6,769

（注）職員数は、令和4年4月1日現在の人数です。（短時間再任用職員及び会計年度任用職員を除く）給与と費には、再任用職員（短時間勤務）及び関係市派遣職員へ派遣元から支給される給与を除きます。

◆職員給与の種類と状況（令和4年度）

■毎月支給されるもの

給料	職種や職務に応じた給料表に定められた額	
住居手当	借家：家賃月額16,000円超え	限度額28,000円
通勤手当	交通機関等利用	限度額55,000円
	自動車等使用：距離に応じて	月2,000円～
管理職手当	管理職員の区分に応じて	月43,000円～

■勤務実績に応じて支給されるもの

時間外勤務手当	正規の勤務時間を超えて勤務したとき
休日勤務手当	祝日等に勤務したとき
夜間勤務手当	夜間（午後10時～午前5時）に勤務したとき
管理職員特別勤務手当	勤務体制により管理職員が祝日等に勤務したとき
特殊勤務手当	救急救命士救急業務、新型コロナウイルス感染者等搬送業務、し尿処理業務に従事したとき

■臨時に支給されるもの

期末勤勉手当	年間4.40月
退職手当	退職日給料月額に退職理由や勤務年数に応じて算出

◆部門別職員数の状況（各年4.1現在）

（単位：人）

部門	区分	職員数		対前年 増減数	
		令和4年	令和5年		
一般行政部門	総務	7	7		
	衛生	環境衛生センター	4	4	
		建設課	1	2	1
		南部衛生センター	1	1	
	小計	13	14	1	
特別行政部門	消防	総務課	10	9	△1
		消防課	5	4	△1
		予防課	5	5	
		指令課	9	9	
		葦崎消防署	58	58	
	北杜消防署	39	40	1	
小計	126	125	△1		
合計		139	139		

（注）職員数は一般職に属する職員数です。[] は条例定数の合計です。

◆職員の平均年齢・平均給料月額・平均給与月額

（R4.4.1現在）

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	47.3歳	347,923円	413,162円
消防職	37.4歳	304,704円	367,058円

（注）給与は、給料月額と毎月支給される諸手当の額の合計です。

◆職員の初任給の状況（R4.4.1現在）

区分	大学卒	高校卒
一般行政職	185,200円	154,600円
消防職	210,400円	173,900円

◆勤務時間その他の勤務条件の状況（令和4年）

- ・勤務時間の状況：1週間の勤務時間 38時間45分
- ・一般職員の年次有給休暇の取得状況：平均取得日数 9.8日

◆福利厚生事業の状況（令和4年度）

地方公務員法に基づき職員の福利厚生事業を行うため福利厚生会を組織しています。主な事業は、職員の保健、元気回復、その他厚生に関する事業などがあり、職員が毎月支払う会費と組合からの負担金で運営しています。

会員数	138人
事業実績総額	4,356千円
公費負担額	1,380千円

◆分限および懲戒（令和4年度）

- ・分限処分者（降任、免職、退職、降給）：1人
- ・懲戒処分者（免職、停職、減給、戒告）：0人

◆峡北広域行政事務組合公平委員会の業務状況

（令和4年度）

- ・勤務条件に関する措置要求
新たな措置要求はありません。
- ・不利益処分に関する不服申立て
新たな不服申立てはありません。

詳細は組合ホームページをご覧ください。

峡北広域行政事務組合

検索

